

一を聞いて以て十を知る

上のことわざは、「物事の一部を聞いただけで、その全体を理解するほど、聡明である。」ことのとえとして使われるもので、「論語」に集録されている章句の一つです。「論語」には、学びへの意欲を高め、社会の中での自分の在り方を探るための知恵やヒントが数多く収められています。

県教育委員会では、心の教育や生き方教育の充実を図るため、「学校教育で活用できる論語章句集」を作成し、学校だけでなく、家庭や地域でも使える章句を集録しています。



学校教育に論語を活用する学校が増えています。

HPでダウンロードできるよ。

岡山県 論語章句集

検索

子どもが自己中心的な言動を繰り返したり、他人が嫌がることをやめなかつたりしたとき、この章句を使ってみてはどうでしょうか。

そ じよ おのれ ほつ ほどこ
其れ恕か。己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。

【意味】(弟子が先生に尋ねた。「たった一つの言葉で、一生かけて行う価値のあるものはありますか。」)

それは、恕だね。自分がされたくないことは人にもしないことだよ。

【解説】人を思いやる心、それが「恕」である。相手の身になって思い、語り、行動することが大切だ。